

のりお通信



コロナ禍からの脱却

～日常を取り戻すための議論と政策を～

皆様お元気でしょうか。3月16日深夜に発生した地震による被害はなかったでしょうか。被害に関して、ご要望などありましたら、ご連絡ください。

さて、今回は、新型コロナの出口戦略について触れます。感染拡大から3年目に突入しました。欧米では規制緩和に踏み切る国が相次いでいますが、日本は様々な規制を継続しています。

◆噴出する社会のひずみ

コロナ禍の影響は、至る所に現れています。近年減少していた自殺者数が増加に転じ、特に女性と小中学生の増加が目立ちます。また、児童虐待相談対応件数と不登校児童生徒数は、過去最多を更新し、ひきこもりも増加しています。コロナ禍は人々の心に甚大な影響をもたらしています。

◆エビデンスに基づく議論

この2年間、様々な知見が得られています。コロナの特徴、重症化率、致死率など膨大なデータが積

み上げられていますが、リアルタイムで、収集・解析・議論・結論・実行のプロセスが行われているとは言えません。ワクチンの普及、治療薬の開発も進んでいます。コロナが地上から消滅する可能性は低く、共存していくことが重要です。規制の緩和に向けて、エビデンス（科学的な根拠）に基づく議論を行い、効果的な政策を立案する必要があります。

今後とも、市政であろうと国政であろうと、主張すべきは主張し、正すべきは正し、市民の安全と幸福を第一に議員活動に取り組んでまいります。皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。



泉区役所建替えの事業者決まる！

～バスターミナルの改善策は盛り込まれず～

仙台市は、老朽化に伴う泉区役所の建替えについて、「公募型プロポーザル方式」で進めてきました。応募したのは3事業者で、事業者選定委員会の審査を経て、事業者が決まりました。このことで、令和8年度中に区役所新庁舎が完成し、



待機スペースが不足するバスターミナル

供用開始になることが現実のものとなります。

しかし、仙台市は公募にあたって、交通環境の改善や賑わいの創出を目指してきましたが選定された事業提案を見る限り、多くを望むことは困難です。特に、交通の最大の課題であるバスターミナルの改善策が盛り込まれなかったのは残念です。

議会のあらゆる場面でこのことを指摘し、改めて交通課題の解決を求めました。引き続き泉中央地区の交通環境の改善に取り組んでまいります。

市道南前町線の改良工事が完了しました

市道南前町線は、国道4号（仙台バイパス）と旧国道4号（七北田街道）を東西に結ぶ道路です。

改良前の道路は、バスや大型車両が頻繁に往来していましたが、狭隘な個所が多く、児童や歩行者の安全が十分に確保されていませんでした。

町内会やPTAをはじめ地域の皆様とともに事業促進を求めてきましたが、昨年12月をもって改良工事が完了しました。これまでの間、用地買収にご協力いただいた地権者の皆様、事業推進にご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

整備前



整備後



※国土地理院の「地理院地図」から作成

「雪道おたすけ隊」 ご存知ですか

この冬は雪が多く、ご苦労された方も多かったのではないのでしょうか。仙台市では、24時間体制で主要な道路の除雪や路面の凍結防止作業を行い、歩道や自宅前など身近な道路については、「門前除雪」を呼びかけています。

また、「雪道おたすけ隊」という制度を作り、市民協働による取組も行っています。歩道等の除雪活動を行う団体に、凍結防止剤の提供やスコップの貸与などの支援をしており、町内会やPTAなど75団体が登録し、泉区では9団体が登録しています。

私も、所属するライオンズクラブの活動の一環として、年末年始をはじめ冬季間、「雪道おたすけ隊」の活動を行いました。

今後、「雪道おたすけ隊」が増えることを期待しますが、あくまでも門前除雪の補完的なものです。仙台市は市民に門前除雪を呼びかけているわけですから、当然に市有施設の門前除雪を徹底すべきです。



「雪道おたすけ隊」の活動

コロナの影響で児童生徒の体力低下

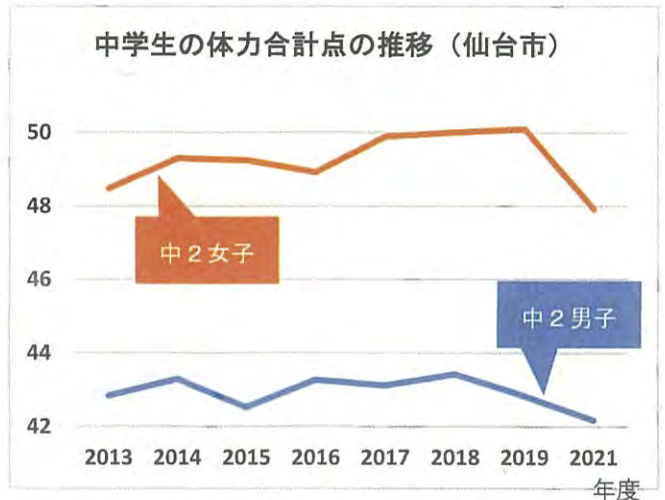
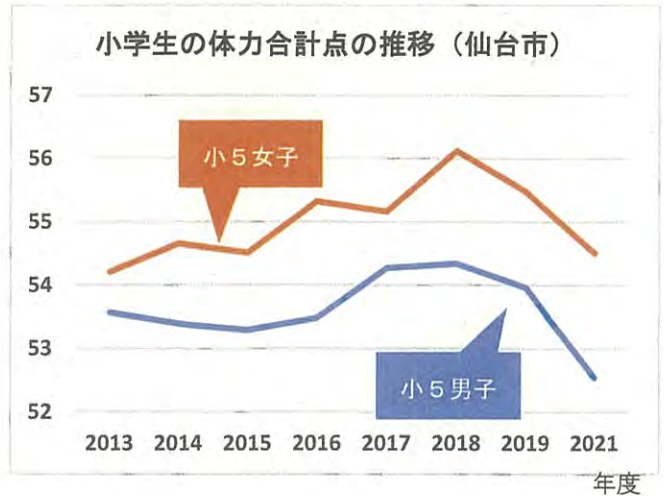
新型コロナウイルスの感染拡大で、「外遊び」やスポーツの機会が減った影響なのでしょうか、仙台市の児童生徒の体力が低下していることが明らかになりました。

スポーツ庁の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は、小学校5年生と中学校2年生の全員を対象に行われ、昨年は4月から7月にかけて実施されました。

調査結果によると、2019年度の前回調査と比べて、持久走や反復横とびを含めた実技8種目のタイムや回数などの成績が軒並み低下し、体力合計点は男女とも大きく下がりました。

体力低下は全国的な傾向ですが、スポーツ庁は要因として、コロナ禍で学校活動が制限されたことに加え、従来からの運動時間の減少、スマートフォンやゲームの利用時間の増加、肥満の子供の増加などを挙げています。

確かに、コロナの影響は大きいと思いますが、仙台市の場合、体力低下の兆候はコロナ前にも表れており、地道な取組が求められます。



※2020年度はコロナ禍のため調査なし。

新たな科目『歴史総合』がスタート

高校で、新たな必修科目として、『歴史総合』が新年度から始まります。この歴史総合は、近代と現代を中心に、世界史と日本史を一緒に学ぶ内容になっています。



歴史総合の教科書

歴史総合の特徴は、「主体的・対話的で深い学び」であり、生徒自身が自分で「主体的」に考え、それを教師との間、あるいは生徒どうしで「対話的」に議論し、そこから歴史の「見方・考え方」を身に付けることとされています。

これは、従来、単に年号や人名、出来事の名などを覚えることが中心の「暗記科目」とされていた歴史教育を大きく変えようとする意欲的な方針と言えます。

しかし、この大胆な方針転換に、教育の現場がどれだけ対応できるのか不安が残ります。教育長に対して、生徒の深い学びを実現するための取組を求めました。

調査で示された地下鉄ルート

■これまでの経緯

2015年1月、若生裕俊氏が「地下鉄の富谷延伸」を公約に富谷町長に当選。2019年1月再選。富谷市は、2021年度に「官民連携による新たな都市交通システムの整備手法検討調査」を実施。この調査の中で地下鉄整備の基本計画が示されました。

■地下鉄整備の概要

- 単線で、泉中央駅と明石台駅を結ぶ 2.9～3.1 km。
- 検討ルートは、A、B、Cの3ルート。
- 中間駅は、Aルートが1駅、B・Cルートが2駅。
- 概算事業費は、308億円～405億円。
- 運行経費は、年間4.1億円。
- PFI方式で、建設費10%、運営費7%削減可能。
- 整備期間は、2035～2039年、開業は2040年。

■泉区の交通への影響

地下鉄整備により、①自動車利用者の減少に伴う交通渋滞の緩和、②泉中央駅バスターミナルの混雑緩和など、交通環境の改善が期待できます。

■課題

調査報告では、課題として詳細な事業費の検討、PFI事業者の検討などを挙げていますが、より大きな課題は、仙台市との連携、県や国の協力・支援ではないでしょうか。



※公表された調査概要に基づき作成



富谷市長と意見交換

◇斎藤のりお事務所◇

〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1-12-5-1D
 TEL 022-375-2101 FAX 022-725-1911
 ホームページ <http://www.saito-norio.net>
 e-Mail norio-office@ever.ocn.ne.jp

◇ 斎藤のりお プロフィール ◇

昭和 29 年 8 月生まれ
 古川高校・北海道大学卒業
 その後宮城県職員となる
 平成 15 年 仙台市議会議員初当選（現在 5 期目）
 仙台市議会会派「せんだい自民党」

